

# 奇をてらわず役に立つ

## 曹洞宗見性院 橋本 英樹住職

檀家制度を廃止したことで知られる曹洞宗見性院(埼玉直熊谷市)は、「コロナ禍の時期を含めて収入を着実に増やし、毎年10〜15%増を推移してきた。『みんなのお寺』と名付けて宗派を問わず葬儀や法事を行い、再生墓地、樹木葬、仏壇販売、遺体搬送

な葬儀に関わる事業を展開している。橋本英樹住職(58)は「時代の流れの中で葬儀を見抜き、奇をてらわずに、お寺の功德をきちんと伝えていくことが重要」として、コロナのよちな身近で「役に立つお寺」を目指すと語る。(山根陽一)

## コロナを越えて～ Beyond COVID-19 インタビュー

### 檀家制度と決別

《熊谷市は人口約19万人。有名な観光地はなく、最近では「日本一暑いまち・熊谷」として知られている。見性院は熊谷市内に二つの分院や墓地を含む約2万3千平方メートルの敷地があり、農地、住宅地、倉庫などに囲まれた典型的な地方寺院》

「低成長の厳しい時代に高い収益をあげている要因は、「檀家制度を廃止したことで、寄付・年会費が不要となった。戒をきめて一日葬で35万円と



橋本英樹(はしもと・えいじゅ)1965(昭和40)年、埼玉県生まれ。大本山永平寺で3年間修行。駒澤大学大学院博士課程満期退学後、米スタンフォード大学仏教学研究客員研究員などを経て、2008(平成20)年に見性院住職。檀家制度を廃止し、再生墓地販売、生前葬など新機軸を積極的に打ち出す。

「お布施の基本金額も公開し、有名人の顕彰地はなく、最近では「日本一暑いまち・熊谷」として知られている。見性院は熊谷市内に二つの分院や墓地を含む約2万3千平方メートルの敷地があり、農地、住宅地、倉庫などに囲まれた典型的な地方寺院》

「檀家制度があると総代や多様な檀家の意向を尊重する必要があり、思い切った改革ができない。檀家の声がストレスになる契機もあった。自分のビジョンをより通す環境を整えるためにも、檀家制度の廃止は有効だった」



8月に境内で実施したスパーの出張販売



⑤3月に改修した本堂  
⑥再生墓地の販売も好評

「事業収入の主な内訳を教えてくださいませんか。」

「葬儀や法事が約4割、墓地や墓石、樹木葬、仏壇などの関連商品の販売が約3割、残りは僧侶派遣や葬儀社からの依頼など。駐車場などの不動産収入はほとんどない。寺院としての正統な事業が大半を占める」

「見性院ならではの事業もありますか。」

「その一つが再生墓地の販売。いわば中古の墓地で、元の所有者が手放す際、見性院が墓誌を修正して第三者に販売している。墓じまいする人も墓地を求めるとの橋渡し役になっている」

「石材店を持つ寺院だからこそできる事業だ」

「仏壇・仏具の販売については、僧侶がさまざまな助言ができるし、古い仏具のお焚き上げなどにも応じている。直接仕入れるので、仏壇専門店より安く販売できる」

「昨年は曹洞宗の宗教法人として初めて遺体運搬業務を行いましたか。」

「法要を終えた後に火葬場へ遺体を搬送するのは葬祭業者で、お寺が遂行する例はほとんどない。一昨年初、宗務庁や埼玉県から業務認可を取得し、霊柩車を寺院として保有した。本堂に安置された遺体を火葬場へ運搬する業務を、現在は月に1〜2回行っている」

「今後、注目したいのが生前葬。本人の意向を反映できる葬儀として希望する人が増えている。一日葬や簡素な葬儀が増える中で形式は多様化してお

る。石材店を持つ寺院だからこそできる事業だ」

「仏壇・仏具の販売については、僧侶がさまざまな助言ができるし、古い仏具のお焚き上げなどにも応じている。直接仕入れるので、仏壇専門店より安く販売できる」

「昨年は曹洞宗の宗教法人として初めて遺体運搬業務を行いましたか。」

「法要を終えた後に火葬場へ遺体を搬送するのは葬祭業者で、お寺が遂行する例はほとんどない。一昨年初、宗務庁や埼玉県から業務認可を取得し、霊柩車を寺院として保有した。本堂に安置された遺体を火葬場へ運搬する業務を、現在は月に1〜2回行っている」

### ハード整備で一致団結

「見性院は昨年从今年にかけて本堂や山門の改修、控室の改装、分院の整備などを行うと同時に人員の充実も図ってきた」

「僧侶以外も含めて従業員は何人いますか。」

「総勢15人。従来通りの業務だけでお寺は生き残れない。僧侶以外に税務、建築、デザインなどさまざまな分野のエキスパートを採用した。今後はリアルタイムの動画配信に注力したいので、ITに強いエンジニアも雇った」

「選ばれたお寺になるために

「見性院は昨年从今年にかけて本堂や山門の改修、控室の改装、分院の整備などを行うと同時に人員の充実も図ってきた」

「僧侶以外も含めて従業員は何人いますか。」

「総勢15人。従来通りの業務だけでお寺は生き残れない。僧侶以外に税務、建築、デザインなどさまざまな分野のエキスパートを採用した。今後はリアルタイムの動画配信に注力したいので、ITに強いエンジニアも雇った」

「選ばれたお寺になるために

「見性院は昨年从今年にかけて本堂や山門の改修、控室の改装、分院の整備などを行うと同時に人員の充実も図ってきた」

「僧侶以外も含めて従業員は何人いますか。」

「総勢15人。従来通りの業務だけでお寺は生き残れない。僧侶以外に税務、建築、デザインなどさまざまな分野のエキスパートを採用した。今後はリアルタイムの動画配信に注力したいので、ITに強いエンジニアも雇った」

「選ばれたお寺になるために

### 用語解説

▼総額査定(せうごうかいさひ) 各寺院が門に賦課金を払う際、規模に応じて点数をつけ、金額を定める仕組み。基準となるのは基本的に檀信徒数で、土地や建物の規模も加味される。

い意見交換を行う。寺院内外で風通しをよくすることが重要だと思っ」

「この先はさらに厳しい時代になると思いますが、将来にシモンは。」

「仏事に関わる事業を中心に進めていくことに変わりはないが、地域の心のよりどころとなる「コミュニティ」の拠点を目指す。精進料理などを通じて気楽に來られる場所になりたい。つい最近では、地元のスパーの出張販売会を催した」

「寺院の淘汰は一層進んでいく。曹洞宗でも同じ。総額査定や用語解説IIを巡ってきたさまざまな意見があるが、宗門に納める宗費は寺院の規模を問わず一律の金額でいいと思う。財政に余裕がある寺院は簡素という形式で納めればいい」

「以前、海外進出も視野に入れていたと話していましたが。昨年9月、シンガポールを訪問、差教都市としての魅力を感じた。イスラム教徒が多い一方、日本人の駐在員や富裕層も増えており、新たな「コミュニティ」づくりの可能性はあやうと思う。ただ、少し先の話。まずは熊谷でもっと存在感のある寺院を目指す。今後2〜3年の目標は20%以上の増収だ」